

令和3年度県立高等学校入学者選抜学力検査

英 語

■ねらいと出題の内容、今後の学習指導のために

1 聞き取り問題

【ねらい】

英語による対話や説明の内容を正しく聞き取る力をみる問題です。

【出題の内容と分析】

英語の聞き取りとともに、コミュニケーション能力が身に付いているかどうかをみる問題です。

放送問題1の正答率は、No.5は60%程度でしたが、No.1、No.2、No.3、No.4はいずれも93～99%程度でした。放送問題2では60～70%程度の正答率でしたが、放送問題3では②の正答率が低い結果となりました。

【今後の学習指導のために】

英語を聞き取る力を伸ばすには、英語でのやりとりや言語活動を授業内で設定し、生徒が英語を聞き、話す時間を増やすことが大切です。また、教科書を発音、リズム、イントネーション等に注意しながら何度も繰り返し音読する時間を設けることで、聞く力の向上も期待できます。その際、中学校で学習する基本的な語句については、正確に書けるようにしておくことが大切です。

2 基礎的・基本的事項の理解を問う問題

【ねらい】

身近なコミュニケーションの場面を設定し、その中で文法・語法や慣用表現等を正しく使うことができるかをみる問題です。

【出題の内容と分析】

基礎的・基本的な慣用表現や適切な表現を用いる力はおおよそ身に付いていると言えます。会話の展開にそって語句を並べかえる(2)は、正答率が低くなりました。

【今後の学習指導のために】

文法・語法や慣用表現等を正しく使う力を伸ばすには、英語でのやりとりや言語活動を授業内で設定し、既習の文法・語法や慣用表現を繰り返し使用させることが大切です。何度も使うことで、そうした知識を正しく使いこなす力は定着していきます。授業で新しい知識を指導したら、間違いを恐れずに、授業の中で繰り返し使用させる機会を設けることが大切です。

3 表現力を問う問題

【ねらい】

与えられた条件により作成した英文から、英語による表現力をみる問題です。

【出題の内容と分析】

内容を把握した上で、与えられた日本語をもとに英語で文章を完成させる(2)では、正答率が低くなりました。

【今後の学習指導のために】

自分の考えや伝えたい内容を英語で表現する力を伸ばすには、身近な出来事や体験、教科書で学習した内容について英語で伝えたり、それらの内容について自分の考えや意見を述べたりする言語活動を授業内で設定することが大切です。その際、自分の伝えたいことを的確に表現するために必要な語彙等を辞書で調べさせたり、友だちと教え合ったりさせながら、できるだけ正確な英語で表現するよう指導することが大切です。また、英語で日記を書いたり、自分が考えたことを頭の中で英語に直したりする習慣をつけるよう伝えてほしいと思います。

4 会話文の内容の理解を問う問題

【ねらい】

会話文と資料の内容の両方を読み取る力と、その内容を踏まえた表現力をみる問題です。

【出題の内容と分析】

内容把握に関する設問の中には正答率が比較的高いものがあったものの、内容を正確に理解した上で英語で表現する(3)、(5)の正答率は低くなりました。

【今後の学習指導のために】

限られた時間の中で、まとまった語数の会話文と表やグラフの情報の両方を読み取る力を伸ばすには、

読むことを中心とした言語活動や、自分のレベルに合った読み物を読む時間を授業の内外で設定することが大切です。生徒が英語による文章を読む際には、登場人物ごとに主張の要点を整理したり、表やグラフの情報を再整理したりしながら読み進める習慣を付けるよう指導してください。また、普段から、読んだり聞いたりした教科書の内容を自分の言葉で言い換えたり、感想を英語で述べたりする言語活動に積極的に参加することで、このような問題に対応できる力を伸ばすことを伝えてほしいと思います。

5 総合問題

【ねらい】

長文を読んで、内容を適切に読み取る力と、その内容を踏まえた表現力をみる問題です。

【出題の内容と分析】

英文を正しく理解した上で、空所を補充して英語で答える設問である（5）や、本文の内容に関する会話について英文を完成させる設問である（6）の正答率が低くなりました。

【今後の学習指導のために】

限られた時間の中でまとまった語数の英文の内容を適切に読み取る力を伸ばすためには、読むことを中心とした言語活動や、自分のレベルに合った読み物を読む時間を授業の内外で設定することが大切です。英語による文章を読む際には、時間の流れ、登場する複数の人物の発言や感情、人間関係などの情報を整理しながら、全体の概要を捉えながら読み進める習慣を身に付けるよう指導してください。また、設問を読んで、必要な情報を即座に英文の中から検索できる力を付けることも必要です。授業で行われる文章の概要を読み取る活動や、必要な情報を素早く読み取る活動を設定することで、このような問題に対応できる力を伸ばすことができます。読んだり聞いたりした教科書の内容について、議論したり、自分の考え等を表現する統合的な言語活動を設定したりすることで、本大問に対応できる力を伸ばすことができます。

■まとめ

基礎的・基本的な問題を多く取り入れた一方で、英語を理解し英語で表現できる実践的な運用能力や思考力を問う応用的な問題も取り入れました。平均点は昨年度より3点低くなりましたが、中学校段階におけるコミュニケーション能力の育成に重点を置いた指導の成果が表れています。

「聞くこと」に関する放送問題は正答率が高かったものの、「読むこと」や「書くこと」に関する設問では、正答率が低い問題も見られました。

「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4技能をバランスよく育成し、実際のコミュニケーションを目的として英語を運用することができる能力の基礎を養う指導が望まれます。また、教科書に書かれている内容を自分の言葉で言い換えたり、自分の意見を英語で述べたりすることで表現力を伸ばす必要があります。

■正解（次頁）

■正答率・部分正答率（％）

英 語	番 号	大 小	1											
			放送問題1					放送問題2		放送問題3				
			No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.1	No.2	①	②	③	④	⑤
	正答率		99.0	93.0	96.9	96.9	56.4	61.4	69.8	63.2	4.2	66.8	45.0	32.5
	部分正答率													

2					3	
(1)			(2)	(3)	(1)	(2)
①	②	③				
69.8	86.9	77.5	33.0	68.2	23.6	2.6
			0.5		2.3	15.9

4						5							
(1)		(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)		(6)	
①	②				A	B				①	②		
79.9	62.7	56.9	16.1	59.9	52.5	24.6	48.3	71.6	58.5	52.2	22.7	15.4	6.1
			17.5		0.2	0.2					7.2	20.6	5.9